

強化選手選考基準

1. 目的

- a. 世界大会、ワールドカップ(合わせて、「世界大会」という)での優勝を獲得すること。
- b. そのために、優勝を狙える選手を短中長期の目線で育成、強化し、日本代表として選考する。

2. カテゴリー

- a. 強化選手A(一般部)、強化選手B(一般部)、強化選手C(U19)を選定する。
- b. 強化選手A(一般部)
 - i. 全日本体力別の第1位および第2位の選手。
 1. ただし、出場選手が少ない階級については、試合内容を強化委員が精査し、1位のみとする場合がある。
 - ii. 全日本無差別のベスト4
 - iii. その他、国際大会(アジア大会、各大陸大会など)については別途考慮する。
- c. 強化選手B(一般部)
 - i. 全国大会および国際大会の第1位、第2位ではないが、強化委員または各地区空道協会からの推薦により、中長期の目線で育成することで、世界大会での優勝の可能性が見込まれる選手。
 - ii. 最終的には、強化委員にて強化選手Bへの指定の可否を判断する。
- d. 強化選手C(U19)
 - i. 全日本ジュニア選手権での、U19カテゴリーでの各階級優勝者。

3. 強化選手指定期間

- a. 強化選手A、Bに指定された大会から3回の全国大会まで。
例:2020年春の全日本体力別大会にて優勝し強化選手となった場合。
①2020年秋の全日本無差別、②2021年春の体力別大会、③2021年秋の全日本無差別にて成績を残せなかった場合、強化選手から除外となる。

4. 世界大会の選考

- a. 強化選手A、B、Cより選考する。
- b. 強化委員より選考の基準となる大会および、獲得ポイントを事前に指定し、獲得ポイントに応じて上位の者を代表選手として内定する。
- c. その他、強化委員にて、獲得ポイントのみでは判断できない場合は、その理由を明確にした後に、委員にて議論し決定、または代表選手選考会を開催したのちに決定する。

5. 国際大会および海外遠征等の出場への選考

- a. 国際大会および海外遠征の機会は、海外勢の戦いに触れる貴重な機会である。選手強化においても、最も重要な機会と捉える。
- b. 国際大会および海外遠征等については、強化選手A、B、Cより選考する。

- c. 選考の際には上位入賞者だけでなく、中長期の目線で判断し、国際大会の経験の少ない者も積極的に参加させる。

改訂の記録

- 2024年7月18日 新規作成